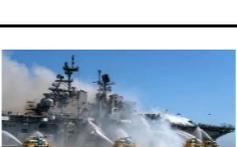


整理番号	発刊日	Title	タイトル訳	出典	所見等	情報提供者
2023 -79	2023/4/21	Leaked US Intel Suggests First Chinese WZ-8 Drone Unit Established	中国製ドローン「WZ-8」の初号機開発を示唆する米情報のリーク	Naval News 2023/4/21	 中国が高速高高度飛行する偵察用UAVを開発したようです。10万フィートの高度をマッハ3で飛行し、敵の防空システムが対応できない状態で陸上海上の目標を合成開口レーダーと電子光学センサーパッケージで調査する機能があるそうです。	佐々木司
2023 -80	2023/4/20	Ransomware Attack Hits Marinette Marine Shipyard, Results in Short-Term Delay of Frigate, Freedom LCS Construction	ランサムウェアがマリネット・マリネ造船所を攻撃し、LCSフリーダム級フリゲートの建造に短期間の遅れを生じさせた	USNI News 2023/4/20	 国内の防衛産業に対するランサムウェア攻撃については、あまり聞きませんが、実体はどうか。今日が大丈夫でも明日は危険だと思います。	川原梅三郎
2023 -81	2023/4/20	Navy Will Have ‘Challenges’ Meeting Submarine Delivery Schedules, Admiral Tells Senate	海軍は潜水艦の納期を守るのは「困難」、提督が上院に報告	USNI News 2023/4/20	 米国での原潜建造基盤に関する記事です。現在でも年間2隻の新造艦建造ペースが遅延しているところ、AUKUSの枠組みでオーストラリア向けの原潜建造が加わることで、建造造船所のスペースと労働力をさらに圧迫することになりそうです。米海軍としては今後5年間で造船所の近代化と拡張のために巨額の投資をしますが、人材の確保は大丈夫でしょうか。	佐々木司
2023 -82	2023/4/26	Royal Thai Navy Welcomes New Type 071E LPD HTMS Chang	タイ海軍は、新しいType 071E LPD HTMS Changを歓迎する	Naval News 2023/4/26	 1隻2億ドルであれば、日本円で280億円になります。兵装等どこまでが契約に入っているのか不明ですが、船体一式のみであっても日本の半額以下です。装備移転は、価格だけでは対抗できないので、オフセット契約のように何らかのオプションを付与する事が必要ではないでしょうか。	川原梅三郎
2023 -83	2023/4/27	Russian Army Numbers Growing Inside Ukraine, Says Top NATO Commander	ウクライナ国内でロシア陸軍の勢力が増えているとNATO最高司令官が語る	USNI News 2023/4/25	 米両院委員会公聴会でのウクライナ戦争の現状です。下線は訳者。巻末に読者コメントも。	岩崎洋一
2023 -84	2023/4/25	Major Shift Comes to Fincantieri Marinette Marine as Freedom LCS Line Ends	Freedom LCS建造ラインの終了によりFincantieri Marinette Marineに大きな変化が訪れる	USNI News 2023/4/28	 米国におけるLCS、Constellation級フリゲートを建造するFincantieri Marinette Marineのこれからの予定、フリゲート建造に向けての取り組みなどが詳述されている記事です。LCS、フリゲートのほかにもサウジ海軍向け性能向上型LCSも4隻建造するので、造船所は手一杯の状態になることが記事から読み取れますが、果たして計画通りことは運べるのでしょうか？	佐々木司
2023 -85	2023/4/26	Ship fires cost the Navy dearly, but lessons still need learning	艦船火災は海軍に多大な損害を与えたが、学ぶべき教訓はまだある	NavyTimes 20203/4/26	 2020年7月に発生した米海軍強襲揚陸艦Bonhomme Richardの火災を受けた米海軍の防火対策を検証する記事です。同艦の大火災発生にさかのぼること8年前の2012年に原潜Miamiで大火災が発生し同艦を廃艦に追い込まれて以降、海軍では様々な対策を講じてきたようですが、どちらの火災も放火が原因とあっては有効な対策は難しそうです。	佐々木司
2023 -86	2023/5/2	USS George Washington returning to Japan next year	USS George Washington、来年日本へ帰還	NavyTimes 20203/5/2	 現在横須賀に配備されている空母Ronald Reaganが来年長期整備作業のため日本を離れ、代わりに空母George Washingtonが第7艦隊に復帰するようです。ところがGeorge Washingtonの長期整備作業は遅れ気味で、当初2021年中に整備作業を完了する予定が、現在もNewport News造船所で整備作業を行っています。いつ日本にやってくるのか微妙なところですよ。	佐々木司
2023 -87	2019/5/8	MAINTENANCE POLICY FOR NAVY SHIPS SHIPS	艦船の整備方針	OPNAVINST 4700.74700.7M 2019/5/8	米海軍の艦船整備方針に関するOPNAVINST(海軍作戦部の通達文書)です。海自の「造修訓令」や「艦船造修整備規則・基準」に相当するものと思います。歴史背景や思想、文化、組織などが異なるので、お手本になるとは考えませんが、用語やものの考え方など、ご参考になれば幸いです。第一回は、前文、目次、第1章から配信します。	岩崎洋一
2023 -88	2023/5/11	“In flight” with PPAs: the advanced technology of the PPAs’ naval cockpit	PPAで「飛行中」: PPAの海軍コックピットの先進技術	伊Leonardo社HP	 イタリア海軍の多目的哨戒艦(PPA)の特徴的なコックピット型操縦装置のある艦橋のシステムに関する製造会社Leonardoの紹介記事です。日本のFFMがCICで艦の全ての機能を運用しようとしているのに対し、PPAでは艦橋にその機能を集約しているようです。記事にはありませんが、艦橋後部にはCIC的な区画もあり、そこで作戦計画立案や司令部機能を発揮するようです。	佐々木司

整理番号	発刊日	Title	タイトル訳	出典	所見等	情報提供者
2023 -89	2019/5/11	MAINTENANCE POLICY FOR NAVY SHIPS SHIPS	第2章 整備方針	OPNAVINST 4700.74700.7M 2019/5/11	OPNAVINST 艦船整備方針の第2章 整備方針 です。	岩崎洋一
2023 -90	2019/5/15	MAINTENANCE POLICY FOR NAVY SHIPS SHIPS	第3章 職責	OPNAVINST 4700.74700.7M 2019/5/15	OPNAVINST 艦船整備方針の第3章 職責です。	岩崎洋一
2023 -91	2023/5/9	SECDEF Austin: Tuberville's 'Unprecedented' Hold on Pentagon Nominees Creates 'Perilous Precedent'	オースティン国防長官は、トゥーバビル議員による「前例のない」国防総省人事の保留は「危険な前例」を生むと指摘	USNI News 2023/5/9	 この夏に交代予定の64人の大將及び中將の昇任人事が、一人の共和党上院議員の反対で止まっているというニュースです。反対の理由は、妊娠中絶のために連邦予算を使うことを禁じた法律に米軍は違反している、というものらしいです。債務不履行といい、米国はどうなっているのでしょうか？	岩崎洋一
2023 -92	2023/5/16	MAINTENANCE POLICY FOR NAVY SHIPS SHIPS	第4章 乗員第4章 乗員レベル整備	OPNAVINST 4700.74700.7M 2019/5/16	OPNAVINST 艦船整備方針の第4章 乗員レベル整備 です。	岩崎洋一
2023 -93	2023/5/12	US Navy declares its mine countermeasures suite ready for operations	米海軍が対機雷戦装置の運用準備完了を宣言	Defense News 2023/5/12	 開発に長期間を要した米海軍の対機雷戦ミッションパッケージがようやく完成しそうです。MH-60ヘリとIndependence級LCSを母艦として機雷探知機及び機雷掃討具を遠隔運用するためのUSVを組み合わせた機雷掃討システムになります。ただし、パッケージの一部である機雷掃討UUV Knifefishの方はもう少し開発に時間がかかりそうです。	佐々木司
2023 -94	2023/5/18	MAINTENANCE POLICY FOR NAVY SHIPS SHIPS	第5章 中間レベル整備	OPNAVINST 4700.74700.7M 2019/5/18	OPNAVINST 艦船整備方針の第5章 中間レベル整備 です。	岩崎洋一
2023 -95	2023/5/10	Navy's troubled frigate project suffers further cost blowout	海軍の問題児であるフリゲート艦プロジェクトがさらなるコスト高に見舞われる	The Sydney Morning Herald 2023/5/10	 欧米にありがちな新造艦の工期遅れと船価高騰がオーストラリアのフリゲート計画でも起きています。記事は豪州会計検査院がその問題を競争の不透明さに目をつけて追及しているとあります。現政権は前政権の責任問題にもしているようです。まだ1番艦が船台にも乗っていないのにこのような状態で大丈夫でしょうか？AUKUSの枠組みで建造する原潜も心配になります。	佐々木司
2023 -96	2023/4/21	Austal Introduces AI-Based Ship Hull Design Software	オースタル(Austal) が AI ベースの船体設計ソフトウェアを導入	ROJOEF MANUEL 2023/4/21	 Chat GPTが騒がれておりますが、いよいよ艦艇の設計にもAIが導入されていくのでしょうか。	高木康之
2023 -97	2023/4/14	Repairs to HMS Prince of Wales will not prevent return to operations this summer	HMS Prince of Walesの修理は、今夏の運用復帰を妨げるものではありません	Navy Lookout 2023/4/24	 昨年8月に軸系の故障に見舞われた、英海軍の空母HMS Prince of Walesの現況に関する記事です。本級は大型艦にも関わらず、非常に短い軸系であったと認識していますが、その損傷原因は意外なものであったようです。姉妹艦でありながら、検査官判断や製造ノウハウに差異があったのか、疑問が残りますが、再発防止策も含めた徹底した改善が望まれます。また、本艦は同型艦HMS Queen Elizabethの所謂、「部品取り艦」と揶揄される報道もありましたが、本編では完全に否定しています。HMS Queen Elizabethの大規模改修も迫っており、目下、期限厳守で戦列に復帰させるべく、最大限の努力が払われているようです。	本山泰之
2023 -98	2023/4/30	Navy may accept Chinese engine in new \$13.5 billion sub if it gets an older one thrown in for free	海軍は、135億パーツの新造潜水艦で、無償で提供されるなら中国製エンジンを受け入れる可能性があります	Thai Examiner 2023/4/30	 中国建造のタイ潜水艦に関する続報の2記事です。依然交渉は決着を見ていないようです。タイ海軍は、当然の要求を臆することなく出し、毅然と交渉に臨んでいます。しかし、多方面に及ぶ対中関係を悪化させたくないという、政治的な力学も作用しそうです。約70年ぶりの潜水艦運用再開を目前にして、タイ海軍は中国製エンジンを搭載した新造潜水艦1隻か、再就役させた中国の除籍潜水艦1~2隻(ドイツ製エンジン搭載?)を取るかの、究極の選択を迫られているようです。また、先般引渡された、中国建造のLPDは、潜水艦の支援艦任務も帯びていると報じています。こちらも如何なる機能を有しているのか、興味が湧いてきます。	本山泰之
2023 -99	2023/5/19	MAINTENANCE POLICY FOR NAVY SHIPS SHIPS	第6章 デポ・レベル整備	OPNAVINST 4700.74700.7M 2019/5/19	OPNAVINST 艦船整備方針の第6章 デポ・レベル整備 です。	岩崎洋一

整理番号	発刊日	Title	タイトル訳	出典	所見等	情報提供者
2023 -100	2023/5/17	Procedural Problems, Maintenance Lapses Led to Water Contamination Aboard Carriers USS Nimitz, USS Abraham Lincoln	USS Nimitz、USS Abraham Lincoln での水質汚濁は、手順の問題やメンテナンスの不備が原因だった	USNI News 2023/5/17	 米空母で飲料水システムがジェット燃料やビルジで汚染される事案が立て続けに発生しましたが、その原因がいずれも人的要因であったことが判明しました。5000人の乗員が使用する飲料水が汚染されるとその後の処置が大変です。しかし、飲料水タンクにJP-5システムを導設したり飲料水システムをビルジがたまるような場所に導設するのは設計上いかなるものかと思いますが・・・	佐々木司
2023 -101	2023/5/18	Pentagon seeks authority to transfer nuclear submarines to Australia	ペンタゴン、オーストラリアに原子力潜水艦を譲渡する権限を求める	Defense News 2023/5/18	 AUKUSの枠組みでオーストラリアに原潜を譲渡することになっている米国で、まずは2隻のVirginia級SSNを米国内で建造し豪州に売却することを可能とする法案が提出されました。現在遅延気味の潜水艦建造を加速させるため、豪州からも作業員を雇い、建造技術の移転も考慮しているようです。米国豪州から大量の作業員を動員して建造を加速する狙いがあります。	佐々木司
2023 -102	2023/5/23	MAINTENANCE POLICY FOR NAVY SHIPS SHIPS	第7章 艦船整備プログラム	OPNAVINST 4700.74700.7M 2019/5/23	OPNAVINST 艦船整備方針の第7章 艦船整備プログラム です。	岩崎洋一
2023 -103	2023/5/19	First Flight III Destroyer Jack H. Lucas Completes Acceptance Trials, Delivery Imminent	DDG51 Flight III型1番艦駆逐艦ジャックH.ルーカスが完成試験完了、引き渡し間近	USNI News 2023/5/19	 いよいよ、SPY-6を搭載したDDG51 flight IIIの一番艦が就役します。本艦はレーダーをSPY6にバージョンアップするために高電圧電源システム(4MW主発電機を3台)を搭載しています。発電機の煙突は、写真から2台(前部、中部)はGT主機用煙路のそれぞれの中に、3台目(後部)は後部VLS甲板の最後部にあり、煙路も含めた発電機装置の完全な3分散配置を維持しています。	清水隆
2023 -104	2023/5/25	MAINTENANCE POLICY FOR NAVY SHIPS SHIPS	第8章 高品質な整備	OPNAVINST 4700.74700.7M 2019/5/25	OPNAVINST 艦船整備方針の第8章 高品質な整備 です。次回配信予定の付録(A~D)で最後となります。	岩崎洋一
2023 -105	2023/5/22	Taiwan To Begin Light Frigate Construction In June	台湾が6月に軽フリゲートの建造に着手へ	Naval News 2023/5/22	 台湾海軍が台湾独自の国産軽フリゲートの建造に着手するようです。軽フリゲートと言っても76mm砲、SAM、SSM、CIWS、VDS(対潜型のみ)を装備する重武装です。搭載武器の多くは台湾製ということで国産重視の方向性がうかがえます。まだ主機が未定で基本設計が未完のようですが、2026年10月には就役予定と、かなりタイトなスケジュールになっています。	佐々木司
2023 -106	2023/5/25	MAINTENANCE POLICY FOR NAVY SHIPS SHIPS	付録A~D	OPNAVINST 4700.74700.7M 2019/5/25	OPNAVINST 艦船整備方針の完結 付録A~D です。付録BとCは、米海軍の整備に関する用語の定義で、参考になると思われます。	岩崎洋一
2023 -107	2023/5/13	SECNAV Names US Navy's First-In-Class Expeditionary Medical Ship	海軍長官が米海軍の遠征病院船1番艦を命名	Naval News 2023/5/13	 米海軍が高速病院船を建造するようです。現有のMercy型病院船よりはかなり小型ですが、それでも各種医療施設と124床の病床を有する立派な病院船です。最大30ktを発揮できるそうなので機動力はMercyとは比較になりません。浅喫水(4.5m)なので、各種港湾に出入港可能です。日本でもかつてテクノスーパーライナーを病院船にできないか検討した時期がありました。	佐々木司